

日本語

本機は、マルチインターフェースシュー搭載のソニー製ビデオカメラレコーダーやレンズ交換式デジタルカメラなどと組み合わせてご利用いただけます。

カメラに本機を取り付けたまま、鞆などに入れて持ち運ばないでください。カメラおよび本機が壊れる恐れがあります。

⚠️ 危険 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口**に修理を依頼する
- **万一、異常が起きたら**

本機が熱くなり、変な音、におい、煙が出たら

➡️

- 本機の電源を切る
- 電池をははずす
- ソニーの相談窓口

警告表示の意味
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ⚠️ 危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- ⚠️ 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。
- ⚠️ 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号 行為を禁止する記号 行為を指示する記号

⚡️ 感電 🔥 火災 🚫 ぬれ手禁止 🚫 禁止 🚫 分解禁止 🚫 接触禁止 ⚠️ 指示

⚠️ 警告 🔥 火災 ⚡️ 感電 **下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。

内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにカメラ本体のスイッチを切り、本機からはずしてください。ソニーの相談窓口にご相談ください。

本機を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

発光部を人の目に近づけて発光させない
強力な光は目をいためる恐れがあります。

落下などで、外装ケースなどが破損したときは、絶対に露出部分に触れない
感電の原因となることがあります。

自動車などの運転中にフラッシュを操作したり、運転者に向けてフラッシュを発光させない
交通事故の原因となることがあります。

万一、使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き、使用を中止してください
放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠️ 注意 🔥 火災 ⚡️ 感電 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本機をさわらない
感電の原因となることがあります。

製品および同梱物を、乳幼児の手の届く範囲に放置しないでください
幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

発光部を皮膚や物で覆ったまま発光させない
発光のとき、発光部が大変熱くなり、火傷の恐れがあります。

⚠️ 危険 **電池についての安全上のご注意とお願い**
漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

⚠️ 危険 🚫 禁止 **禁止**

- 火の中に入れない。電子レンズやオープンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。

⚠️ 警告 🚫 禁止 **禁止**

- ハンマーなどでたたいたり、踏みついたり、投げたり、落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠️ 注意 🚫 禁止 ⚠️ 指示 **指示**

- 乾電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- +と-の向きを正しく入れる。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わない。

🔄 お願い
ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH
ニッケル水素電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

お使いになる前に必ずお読みください

お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。
本機は**防じん、防滴、防水仕様ではありません**
置いてはいけない場所
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を開め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

主な特長

- 厚さ24mmの薄型設計、簡単コンパクトな外付フラッシュです。
- 本機はホワイトバランス自動補正機能を搭載しています。
- カメラ本体で設定することにより、赤目軽減発光が可能です。

各部の名前

- 1 発光部
- 2 BOUNCEスイッチ
- 3 固定つまみ
- 4 マルチインターフェースフット
ご注意
直接手で触れないでください。
- 5 端子保護キャップ
- 6 TELEスイッチ (出荷時：スタンダードポジション)
- 7 電池室ふた
- 8 CHGランプ
- 9 POWERランプ
- 10 シュー POWERスイッチ

本機の状態によって、CHGランプとPOWERランプは以下のよう点灯・点滅・消灯します。

状態	CHGランプ	POWERランプ
充電中のとき	消灯	緑色で点灯
充電が完了したとき	点灯	緑色で点灯
撮影後、適正露出が得られたとき	点滅	緑色で点灯
電池の残量が少ないとき	消灯	赤色で点灯
オーバーヒート状態のとき	消灯	赤色で点滅
カメラが④(発光禁止)モードのとき	消灯	緑色で点灯

準備する

ⓐ 本機に電池を入れる

本機に電池を入れてから、カメラに取り付けてください。

- 以下はいずれかの電池を使用します。電池は同梱していません。
- 単4形アルカリ乾電池 2本
- 単4形ニッケル水素電池(Ni-MH) 2本

- 1 シュー POWERスイッチをOFFにする
出荷時はONになっています。
- 2 電池室ふたを図の方向に押し開ける
- 3 電池室の表示にしたがって電池を入れる
電池の向きを確認してください。
- 4 電池室ふたを閉める
開けるときのと反対の手順に沿ってください。

ご注意
電池ふたを開閉するときは、指などをはさまないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電池残量のチェック

- 電池残量が少なくなると、本機のPOWERランプが赤く点灯します。
- 本機のシュー POWERスイッチ [ON]にしても、CHGランプとPOWERランプがともに点灯しないときは、電池の向きを確認してください。それでも点灯しないときは新しい電池に交換してください。

ⓑ カメラに本機を取り付け、電源を入れる

端子保護キャップをははずし、固定つまみがロックされていないことを確認してください。

- 1 本機の電源を入れる
本機を起こすと電源が入り、POWERランプが点灯します。カチッと音がするまで確実に持ち上げてください。電源を切るには、本機をレンズ側に倒します。(イラスト**ⓑ-1**)
一部のカメラ、交換レンズでは、電源オフ時にフラッシュとカメラ、交換レンズが接触する可能性があります。
- 2 カメラの内蔵フラッシュが下がっていることを確認する
カメラの内蔵フラッシュが上がっていたら、下げてください。(内蔵フラッシュ搭載カメラの場合)

- 3 本機のマルチインターフェースフットをカメラのマルチインターフェースシューに矢印の方向に止まるまでしっかり差し込む
- 4 固定つまみをまわして固定する
固定つまみは無理にまわしすぎないでください。取りはずすときは、取り付けるときと逆の手順で取りはずしてください。自動ロックではありません。強い力を加えるとロックがはずれることがあります。

- 5 カメラの電源を入れる
パワーセーブ
カメラがパワーセーブになったあと、カメラまたは本機を1分以上操作しないていると、節電のため自動的に電源が切れ、本機のPOWERランプおよびCHGランプが消灯します。また、カメラのPOWERスイッチを[OFF]にすると、連動して本機もパワーセーブになります。(DSLR-A100を除くソニー製デジタル一眼レフカメラで使用の場合)解除する場合は、本機電源を入れ直すが、カメラの操作を行ってください。

撮影する

- 1 カメラと本機の電源が入っていることを確認する
- 2 カメラの撮影モードを希望のモードに設定する
カメラのモード設定については、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。カメラのモードをシャッタースピード優先フラッシュ撮影(S)やマニュアルモードフラッシュ撮影(M)に設定した場合、フラッシュ同調速度*より速いシャッタースピードは選択できません。
*フラッシュ同調速度
一般的にフラッシュ撮影時には、これ以上の速度で撮影できないという限界のシャッタースピード(フラッシュ同調速度)があります。
- 3 本機の充電が完了したら、シャッターボタンを押して撮影する
本機のCHGランプがオレンジに点灯したら充電完了です。撮影後、適正露出が得られた時には、本機のCHGランプがオレンジに点滅します。

ご注意
● 充電が完了する前に撮影すると、必要な明るさが得られないことがあります。(露光アンダー)
● セルフタイマーでフラッシュ撮影を行うときは、充電完了を確認してからシャッターボタンを押し込んでください。
● カメラが自動発光に設定されている場合は、発光しないことがあります。

オーバーヒート

オーバーヒートとは、連続発光および高温環境下での使用時、本機の温度が上昇すると自動的に発光動作が停止する機能です。
● オーバーヒートを検出すると、POWERランプが1秒間隔で、赤色に点滅します。
● 温度が低下するまで、発光動作が停止します。
● オーバーヒート状態になった場合、本機の温度を下げるため、10分間ご使用を休止してください。

ⓓ BOUNCEスイッチ

被写体のすぐ後ろに壁があるときに本機を直射発光させると、壁に強い影ができてしまいます。このようなとき、天井がある屋内では、BOUNCEスイッチを[BOUNCE]に切り換えると、天井にフラッシュ光が反射し被写体を照射するため、柔らかい光で照らした写真を撮ることが出来ます。また屋外では、BOUNCEスイッチを[DIRECT]へ切り換えることにより、内蔵フラッシュでは光が届かなかった被写体を明るく撮影することが出来ます。
● BOUNCE：フラッシュ発光部 上75° (バウンス)
● DIRECT：フラッシュ発光部 0° (直射)

BOUNCEスイッチをスライドさせて切り換える

ⓔ TELEスイッチ

フラッシュ発光が被写体まで届かないとき(調光距離範囲外)のとき、本機のTELEスイッチを[テレポジション]に切り換える(イラスト**ⓔ-B**)ことで、さらに遠くへ光が届かせることができます。

- **ご注意**
通常は[スタンダードポジション](イラスト**ⓔ-A**)でご使用ください。
- 各ポジションより広角のレンズを使用すると、画面周辺が暗くなる場合があります。各ポジションの仕様については、本取扱説明書内「ズーム仕様」をご覧ください。
- TELEスイッチはBOUNCEスイッチが[DIRECT]のときのみ有効です。
- 内蔵フラッシュでAF補助光するカメラに取り付けてご使用になる場合、夜景などの撮影ではAF精度が極端に落ちることがあります。

ワイヤレスコントロール機能

対応カメラに本機を取り付けることにより、本機をコントローラーとして、カメラから離して設置するフラッシュをオフカメラフラッシュとして、ワイヤレス撮影ができます。本書では、カメラに取り付けるフラッシュをコントローラー、カメラから離して使用するフラッシュをオフカメラフラッシュと呼んでいます。

- 1 本機をカメラに取り付け、カメラ、本機、オフカメラフラッシュの電源を[ON]にする

- 2 カメラ、オフカメラフラッシュのモード設定をする
カメラ側：
[ワイヤレス]に設定する。
詳しい操作方法はカメラの取扱説明書をご覧ください。
オフカメラフラッシュ側：
お使いになるフラッシュの設定を[ワイヤレスリモートモード]に設定し、ワイヤレスチャンネル設定を[CH1]にします。詳しい操作方法は、お使いのフラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- 3 カメラとオフカメラフラッシュを設置する
設置方法は、オフカメラフラッシュとしてお使いになるフラッシュの取扱説明書をご覧ください。
- 4 オフカメラフラッシュと本機の充電完了を確認する。
- 5 テスト発光を行い、オフカメラフラッシュの発光を確認する
● テスト発光の方法は、カメラによって異なります。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
● オフカメラフラッシュが発光しない場合は、カメラ、オフカメラフラッシュ、被写体の設置場所を変えて、再度確認してください。
- 6 オフカメラフラッシュと本機の充電完了を確認し、カメラのシャッターボタンを押し込んで撮影する

ご注意
● 本機はオフカメラフラッシュとしてご使用できません。
● 光量比制御設定(RATIO)はできません。

お手入れのしかた

本機をカメラから取りはずし、柔らかい布でから拭きしてください。砂がついたときは、こすると傷を付けますので、プロアーで軽く吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

互換性について

対応機種については、ホームページ、カタログなどをご確認ください。

使用上のご注意

- 撮影上の注意**
- 本機は強い光が出ますので、人物の目の前で発光させないでください。
 - 本機と電池の過熱と劣化を防ぐため、連続発光を20回以上行わないでください。制限回数まで連続発光した場合は、10分以上休止して自然冷却してください。
 - カメラ取り付け時、本機を持って持ち運ばないでください。持ち運びの際は、必ずカメラ本体をお持ちください。
 - シュー POWERスイッチを動作するときは、回転部分に指などをはさまないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

電池について

- アルカリ乾電池は、温度や保管のしかたによっては、電池残量が実際の残量より低く表示部に表示されることがあります。このような場合でも、本機をしばらく使用すると電池残量が回復します。
- ニッケル水素電池は、電池残量が残り少なくなると急に性能が低下します。POWERランプが赤く点灯し、すぐに使用不可能になることもあります。
- 電池の製造後の経過期間により、新しい電池でも本機の発光間隔および発光回数が性能表と異なることがあります。
- 電池の交換の際は、電源を切り、数分待ってから取り出してください。電池によって、発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取りはずして保管してください。

使用温度について

- 本機の使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高いところに本機を放置しないでください。
- 急激な温度変化を与えると内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い室外から温かい室内に持ち込む場合は、屋外でビニール袋に入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新しい電池を使う、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使う、などの点に留意してご使用ください。また低温下では、電池の残量が残っていても一時的にPOWERランプが赤く点灯することがあります。なお低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復し再び使えるようになります。
- 本機は防水性能は備えていません。海辺等で使用されるときは、水や砂がかからないよう注意してください。水、砂、ホコリ、塩分等が残っていると故障の原因になります。

主な仕様

ズーム仕様

スタンダードポジション：

APS-C画角時	焦点距離 18 mm相当
35 mm判画角時	焦点距離 27 mm相当

テレポジション：

APS-C画角時	焦点距離 35 mm相当
35 mm判画角時	焦点距離 50 mm相当

調光距離範囲

ガイドナンバー
スタンダードポジション：14
テレポジション：20
*ISO100

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-5	1-7	1-10	1-14
4	1-3.5	1-5	1-7	1-10
5.6	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7
8	1-1.5	1-2.5	1-3.5	1-5

* バウンスは[DIRECT]時 (単位：m)

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-7	1-10	1-14	1-20
4	1-5	1-7	1-10	1-14
5.6	1-3.5	1-5	1-7	1-10
8	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7

* バウンスは[DIRECT]時 (単位：m)

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-7	1-10	1-14	1-20
4	1-5	1-7	1-10	1-14
5.6	1-3.5	1-5	1-7	1-10
8	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7

* バウンスは[DIRECT]時 (単位：m)

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-7	1-10	1-14	1-20
4	1-5	1-7	1-10	1-14
5.6	1-3.5	1-5	1-7	1-10
8	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7

* バウンスは[DIRECT]時 (単位：m)

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-7	1-10	1-14	1-20
4	1-5	1-7	1-10	1-14
5.6	1-3.5	1-5	1-7	1-10
8	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7

* バウンスは[DIRECT]時 (単位：m)

絞り値(F)	ISO100	ISO200	ISO400	ISO800
2.8	1-7	1-10	1-14	1-20
4	1-5	1-7	1-10	1-14
5.6	1-3.5	1-5	1-7	1-10
8	1-2.5	1-3.5	1-5	1-7

発光間隔／発光回数

発光間隔(秒)	アルカリ	ニッケル水素電池(930 mAh)
発光間隔(秒)	約0.1～5	約0.1～4
発光回数(回)	約90以上	約150以上

● 発光回数とは、新しい電池で電池消費までに発光できる回数を表します。

調光方式 フリ発光による光量制御(P-TTL/ADI調光)

外形寸法(約) 62 mm×114 mm×24 mm (幅/高さ/奥行)

質量 約105 g (電池含まず)

推奨電池 単4形アルカリ乾電池
単4形ニッケル水素電池

同梱物 フラッシュ(1)、端子保護キャップ(本体に装着)(1)、ポーチ(1)、印刷物一式

取扱説明書に記載の機能は当社試験条件によります。本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Multi Interface Shoe (マルチインターフェースシュー)はソニー株式会社の商標です。

保証書とアフターサービス

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地のアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

- 保証書**
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かのうえ、大切に保存してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

